

令和7年度 学校評価について



※26日朝の写真です

学校ホームページに「令和7年度 学校評価」を掲載いたしました。

1月に実施した保護者アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。また、20日(金)の学校運営協議会では、委員の皆様より貴重なご意見と評価をいただきました。皆様から寄せられた声を真摯に受け止め、本年度の教育活動を振り返るとともに、来年度のさらなる充実に向けて学校運営を改善してまいります。これまでの多大なるご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

尚、来年度は夏休みの延長に伴い、1学期の授業時間が減りますので、時間割の変更はありません。

★学校関係者評価

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名 東神吉南小学校

1 教育目標	「自ら考え、やりぬく子を育てる」 ひとりひとりを伸ばす教育を基盤にすえ、「未来への道を切り開く力」の育成		
2 基本方針	知・徳・体の調和がとれた、こころ豊かで自立する人づくり 一たたくし「生きる力」を育てるー ○知…自ら学び よく考える子 ○徳…思いやりのある すなおでやさしい子 ○体…心身ともに健康で たくましい子		
3 指導目標(めざす児童像)	1.「確かな学力」を培います 2.「豊かな心」を育みます 3.「健やかな体」を育みます 4.特別支援教育の充実を図ります 5.教職員の資質能力の向上を図ります 6.安全・安心な学校づくりを推進します 7.開かれた学校、地域とともにある学校をつくります		

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
特別支援教育の充実	①「なかよし学級」について児童に正しく理解させ、共に生きる心や思いやりのある心を育成した	B	交流児童だけでなく、全てのなかよし児童との交流の機会を早い時期に行い、思いやりの心を育む	一定数の職員は、特別支援教育の取組がうまくできていないと感じている。交流は多様な人間関係を理解し、人間の権を認める、先入観のない学年から交流の機会を多く持つような改善が必要。	B
教職員の資質能力の向上	②研究テーマに沿って、校内研究が効果的に実施された	A	今年度、大きく形を変えたので、学年末の反省を生かし、来年度はさらなる推進に努める	参観授業等から、授業内容にも工夫が見られる。多くの教職員が校内研究が効果的に実施できたと評価している。来年度も新たな形が成果を上げること期待する。	A
安全・安心な学校づくり	③学校生活適応推進委員会やケース会議を通して、困難行動や生徒指導上の課題を全教職員が情報共有し、組織的に対応した	B	課題をいち早く全体で共有し、学校生活適応推進委員会等で決定した事を元に対応していくことで拡大防止に努める	課題を早急に情報共有できる環境は良い。個々での対応は非常に難しいので、組織的な対応をさらに強化することを期待する。	B
開かれた学校づくり	④学校園ユcottやなかよし農園運営委員会、シニアクラブ等との連携を工夫したり、学校運営協議会の意見や学校関係者評価を活用したりすることができた	A	各種団体からの意見や学校運営協議会の評価等を精査し、様々な活動を通して開かれた学校づくりを推進する	スクリーンによる学校周りの配信は、学校行事や生活の様子がよくわかり、評価大、なかよし農園をはじめ、地域との関係を適切に構築できている。またその連携により子ども達が地域で支えられていることを実感できている。	A

★児童アンケート 結果

★保護者アンケート 結果

がっこうがいかっ こども

学校生活についての児童アンケート 結果

項目	そうおもう	どちらかというほう	どちらかというほう	どちらともいえない	わからない
1 授業は楽しく、わかりやすかった。	43.3	44.7	5.4	2.3	4.3
2 授業中、めあてをもって学習し、最後に振り返りをして学んだことを確かめることができた。	35	45.8	10.3	3.2	5.7
3 文章を読んだり、書いたりする力や計算する力がのびた。	55	30.9	6	3.7	4.3
4 授業中、自分の考えを発表したり、互だちに促したりし、互だちの意見もしっかりと聞くことができた。	41.5	34.7	14.3	3.7	5.7
5 家でも、すすんで学習ができた。	40.1	33.8	15.5	7.2	3.4
6 毎日の生活の中で、たくさん本を読んでいる。(読書時間以外)	37	19.2	16.3	21.2	6.3
7 自分からすすんであいさつができた。	57.9	25.5	9.2	4	3.4
8 学校のルールやマナーを守っている。	51	35.5	7.7	1.7	4
9 そうじや係の任務など、人の役に立つことをすすんでできた。	53.3	32.1	6.9	2.9	4.9
10 友だちと仲良く、思いやりの気持ちをもっとけいふことができた。	58.7	30.1	5.2	1.4	4.6
11 「いじめはいけいない」と意識して行動できた。	66.2	24.1	3.4	2.3	4
12 困ったときは、先生に相談ができる。	40.7	32.7	9.7	9.2	7.7
13 自分からすすんで外遊びや運動にひとりにくんでいる。	47.9	21.8	14.9	12.3	3.2
14 毎日、朝ごはんと給食をしっかり食べている。	68.8	16.9	9.2	2.6	2.6
15 交通ルールを守って、安全に登下校できている。	73.6	18.9	3.4	1.4	2.6
16 なかよし学級の友だちと、たくさん話したり活動したりすることができた。	30.9	29.5	16.9	12	10.6
17 学校であったことを家でよく話している。	54.2	26.9	10.3	7.2	1.4
18 マスクや手洗いがしっかりとできた。	57.3	32.4	5.7	2.3	2.3

令和7年度 東神吉南小学校保護者アンケート 結果

項目	結果 (%)				
	満足	どちらかというほう	あまり満足しない	思わない	わからない
1 お子さんは、楽しい学校生活を送っている。	52.7	40.1	5.2	1.2	0.9
2 学校での生活や学習の様子について、お子さんとよく会話している。	33.7	52.7	11	2.6	0
3 お子さんは、漢字や計算などの基礎的な内容が身につけてきている。	27.4	56.2	12.4	3.2	0.9
4 お子さんは、本に親しみ、読書習慣が身につけてきている。	13.5	24.5	33.7	25.6	2.6
5 お子さんは、あいさつや通学をし、決まりや約束を守っている。	29.9	55	11.5	2.9	0.9
6 お子さんは、自分の命や大切にすることを覚えている。	57.1	37.8	2.3	0.3	2.6
7 お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯を食べ、歯を磨くなどの基本的な生活習慣が身につけてきている。	36.9	44.1	13	5.5	0.6
8 お子さんは、お買い物がいかなど慣れに慣れに慣れていくように、学習に心がけている。	36.9	43.2	15.9	4	0
9 学校は、児童一人一人に合った指導に努めている。	30	50.1	6.6	2	11.2
10 スクリーンやホームページ等によって学校の取組や子どもたちの様子が伝わりやすくなっている。	48.4	47.8	2.6	0.6	0.6
11 ヴィアを活用し、地域と連携した取り組みが行われている。	56.2	40.6	1.2	0	2

★教職員自己評価 結果

令和7年度 学校自己評価 結果

重点指導事項	番号	評価項目	思う	そだいたい思う	あまりない	思わない	評価
確かな学力	1	学習のめあてを明確に示し、児童が課題を見つけ、見通しをもって主体的に取り組めるように工夫した。	9	13	2	0	A
	2	協同的探究学習等の手法を用いて、多様な考えを引き出し、それを伝え合って考えを深める場面をつくる工夫をした。	4	12	6	0	B
	3	児童の的確な実態把握に基づき、個に応じた学習指導の工夫で基礎的・基本的な知識・技能の習得を図った。	12	9	3	0	A
	4	個別の指導計画に基づき、学習支援が必要な児童への指導の充実を図った。	10	12	0	0	A
	5	各教科において「記録」「要約」「説明」「論述」などの言語活動を充実させ、「ことばの力」の育成に努めた。	5	12	2	1	A
	6	発達段階に応じた読書目標を設定したり、家庭や公立図書館と連携したりしながら、読書活動の充実に取り組んだ。	3	8	6	4	B
豊かな心	7	児童がより良い人間関係を築き、安心して帰属できる学級づくりに努めた。	8	14	0	0	A
	8	自主的な態度を育む特別活動を推進し、豊かな人間関係を育む学級・学校づくりに努めた。	8	13	2	0	A
	9	発達段階に応じて、いじめは人間として絶対に許されないという意識を醸成する指導を行い、心の通い合った学級づくりに努めた。	13	9	0	0	A
	10	生命の尊重を基盤に、児童一人一人に自己肯定感や自己有用感を持たせるとともに、互いに認め合う機会を日常的に作り、多様な他者との共生に向けた人権教育を実施した。	10	10	3	0	A
	11	道徳科の授業を年間35時間以上実施し、「考え、議論する」道徳を目指して取り組んだ。	7	9	4	0	A
	12	生活科や総合的な学習などに教科横断的な視点で取り組み、地域の特色を生かした体験活動を実施した。	7	11	3	0	A
	13	様々な教科・領域の中で自己肯定感を高め、将来の夢や目標が持てるキャリア教育の充実を図った。	6	9	8	0	B
健やかな体	14	児童が体を動かす楽しさや心地よさを味わえるよう、体育科授業の工夫を行った。	11	5	1	0	A
	15	栄養教諭と連携して、給食等の機会をとらえた正しい食事のあり方などの食育指導を行った。	10	9	1	0	A
	16	養護教諭と連携し、いのちや健康を大切にす保健教育に取り組んだ。	12	9	0	0	A
	17	登下校指導、交通安全教室等を実施し、身近な生活における健康・安全について実践的に理解できるよう指導した。	11	10	2	0	A
特別支援教育	18	「なかよし学級」について児童に正しく理解させ、共に生きる心や思いやりのある心を育成した。	8	8	7	0	B
	19	様々な機会をとらえて特別支援教育についての理解を深め、障がいのある児童への適切な支援に努めた。	7	11	5	0	B
	20	ユニバーサルデザインの授業・教室を意識し、取り組むことができた。	9	10	4	0	A
	21	要支援児童の実態や児童・保護者のニーズを把握し、個別の指導計画に基づき適正な支援や就学指導を実施した。	11	9	1	0	A
資質・能力の向上	22	実践的な指導力を伸ばす、専門性を伸ばす、より高い力を身につける等キャリアステージに応じた個人の成長目標を設定し研鑽を積んだ。	9	9	6	0	B
	23	研究テーマに沿って、校内研究が効果的に実施された。	6	12	3	0	A
	24	余剰時数の削減や企画委員会等、会議の精選及びICTの活用等による業務の効率化により、児童とかわる時間の確保に努めた。	6	6	8	2	B
	25	各自が校務分掌を誠実に遂行し、OJTを活性化させ協働体制づくりに努めた。	6	11	6	0	B
	26	毎週木曜日又は個別に設定した定時退勤を守ることができた。	10	8	5	1	B
	27	自分の働き方について見直し、職務・校務の効率化を工夫して勤務時間の適正化を図った。	7	9	6	3	B
安全・安心な学校づくり	28	学校内・登下校・緊急時の安全について、避難訓練を適切に行うなど日頃から危機管理に努め、安全・防災教育を推進した。	10	14	1	0	A
	29	「いじめ見逃しゼロ」をめざし、積極的にいじめを認知して、情報共有・組織的対応に努めた。	9	13	1	1	A
	30	日頃の観察、「アセス」「心の相談アンケート」等の各種アンケートや教育相談を効果的に活用して児童の実態把握を丁寧に行い、いじめの未然防止・早期発見と温かい人間関係作りを努めた。	7	13	1	0	A
	31	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携協力等を行うなどいじめや不登校への適切な対応に努めた。	7	10	2	1	A
	32	児童一人一人の多様性を認め、担任との心の通い合った人間関係に基づく生徒指導を実施した。	10	9	3	0	A
	33	学校生活適応推進委員会やケース会議を通して、問題行動や生徒指導上の課題を全教職員が情報共有し、組織的に対応した。	8	10	5	1	B
開かれた学校づくり	34	スクリーン、ホームページ等を活用して、地域や家庭に積極的に情報提供を行った。	15	9	0	0	A
	35	保護者との連絡を密にして信頼関係の構築に努めた。	10	11	1	0	A
	36	学校園ユニットやなかよし農園運営委員会、シニアクラブ等との連携を工夫したり、学校運営協議会の意見や学校関係者評価を活用したりすることができた。	8	7	2	0	A